



浄水場等設備技術実務研修会（第4回：9月17日～20日、第5回：10月15日～18日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々（第4回〔水道事業に従事する方対象〕：15名、第5回〔水道関係企業職員対象〕：15名）の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

配管設計講習会（九州会場：9月18日～20日）

水道事業体職員及び設計業者の方々48名の参加を得て、「配管設計のあらまし」、「設計・積算の実務知識」、「製図の基本」、「管路の製図演習」、「管路の積算演習」について研修を実施した。

第921回会誌編集委員会（9月19日）

本誌10月号、11月号、12月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。

第80回水道 GLP 認定委員会（9月24日）

水道 GLP 認定について、認定維持検査機関として熊本市上下水道局（認定番号：JWWA-GLP074）が、更新後の認定維持検査機関として奈良県広域水道センター（認定番号：JWWA-GLP029）が、それぞれ審議され決定された。

漏水防止講座（第4回：9月25日～27日）

漏水防止業務に従事する技術職員の方々59名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修を実施した。1日目及び2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題、これからの漏水防止」、「漏水防止作業」、「漏水探査技術」について講義があり、3日目には漏水防止関連機器を使つての現地研修を行った。

第677回抄録委員会（10月3日）

本誌11月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議した。

第12回 ISO/TC224ワーキンググループ7仙台会議（10月8日～9日）

仙台国際センターにて開催され、世界8カ国からの参加があった。

会議の結果、既に国際規格となる予定のマネジメント規格書、より実践的内容の「技術仕様書（TS）」の他に優良事例を掲載した「技術報告書（TR）」の新規作成を提案することとした。

第922回会誌編集委員会（10月15日）

本誌11月号、12月号、1月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。

第36回 IWA 日本国内委員会（10月16日）

9月末の任期満了に伴う委員の変更があったため、はじめに正・副委員長の互選を行い、引き続き委員長には花木東京大学大学院教授、副委員長には尾崎日本水道協会理事長が選任された。

次に報告事項として、事務局より、① IWA イスタンブール理事会の概要について、② IWA ASPIRE（大田）概要及び ASPIRE Council Meeting について、③ IWA LESAM 2013の概要について報告した。

続いて、先に東京開催が決定した2018年 IWA 世界会議の開催に向けた準備について審議を行い、関係団体による開催準備委員会を設置すること等を決定した。



第4回理事会（10月22日）

降矢郡山市水道事業管理者から全国会議開催地代表挨拶の後、事務局より報告事項として「本協会の会務について」を報告し、その後、尾崎理事長が議長となり議案の審議に入った。第1号議案「第83回総会の運営について」、第2号議案「会員の入会について」それぞれ事務局より配付資料に基づき詳細な説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。



平成25年度全国会議〔第83回総会・水道研究発表会〕（10月23日～25日 於：ビッグパレット福島）

第1日目（10月23日）

開会式においては、開催地代表として品川郡山市長、日本水道協会を代表して猪瀬会長（東京都知事）、また、本協会東北地方支部を代表して奥山仙台市長から挨拶があり、次いで厚生労働大臣（赤石厚生労働大臣政務官代読）、総務大臣（廣澤総務省自治財政局公営企業経営室長代読）、国土交通大臣（海野国土交通省水管理・国土保全局水資源部水資源計画課長代読）、福島県知事（菅野福島県保健福祉部長代読）、高橋郡山市議会議員、益本日本水道工業団体連合会会長から来賓祝辞があった。



会場：ビッグパレットふくしま



開会式



日本水道工業団体連合会水道展

（左から益本日本水道工業団体連合会会長、赤石厚生労働大臣政務官、猪瀬会長（東京都知事）、品川郡山市長）



歓迎挨拶：
品川郡山市長



本協会代表挨拶：
猪瀬会長（東京都知事）



本協会東北地方支部長
挨拶：奥山仙台市長



厚生労働大臣祝辞：
赤石厚生労働大臣政務官



総務大臣祝辞：
廣澤総務省自治財政局
公営企業経営室長



国土交通大臣祝辞：
海野国土交通省水管理・国土保
全局水資源部水資源計画課長



福島県知事祝辞：
菅野福島県保健福祉部長



祝辞：高橋郡山市
議会議長



祝辞：益本日本水道
工業団体連合会会長



次期全国会議開催地挨拶：
小林名古屋水水道事業管理者



厚生労働大臣表彰



日本水道協会感謝状贈呈



日本水道協会会長表彰



東日本大震災感謝状贈呈

続いて表彰式が行われ、はじめに厚生労働大臣表彰として赤石厚生労働大臣政務官より長谷川秀幸氏外62名の受章者に対し表彰状と記念品が贈られた。これに対して受章者を代表して、片山隆文氏より謝辞が述べられた。

次いで、日本水道協会感謝状が本協会会長の猪瀬東京都知事より高谷茂男前岡山市長及び石飛博之前厚生労働省健康局水道課長に贈呈された。

続いて日本水道協会会長表彰が行われ、本協会会長の猪瀬東京都知事から功労賞として北野靖尋氏外16名、特別賞として市川裕樹氏外105名、有効賞として原本英司氏外6名、勤続賞として平英紀氏他600名に対して表彰状と記念品が贈られた。これに対して全会長表彰受賞者を代表し、増子敦氏から謝辞が述べられた。

最後に、東日本大震災感謝状が本協会会長の猪瀬東京都知事より本協会の7地方支部（383事業体）及び水道関係団体（11団体）に贈呈された。

表彰式の後、定款の定めにより開催地の正会員代表として降矢郡山市水道事業管理者が議長となり議案の審議に入り、第1号議案「役員の選任」及び第2号議案「運営会議委員の選任」について事務局より提出資料に基づく詳細な説明があり、慎重審議の結果、原案のとおり決定した。

続いて、会員提出問題討議に入り、東日本大震災関係として、問題1「放射性物質に係る対応の推進及び東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を原因とする損害賠償について」、問題2「東日本大震災で被災した水道施設の撤去費用に係る財政支援について」、問題3「水道事業における電力確保対策等について」が上程され、討議の結果、関係当局に陳情することと決定した。

次に、補助関係として、問題4「水道事業に対する財政支援の拡充及び補助要件の緩和について」、問題5「水道施設の再構築事業等に対する新たな財政支援体制の確立について」、問題6「簡易水道事業統合に対する財政支援について」、問題7「交付金の一部事務組合等への直接交付について」が上程され、討議の結果、関係当局に陳情することと決定した。

続いて、起債・繰出関係として、問題8「起債融資条件の改善及び地方公営企業繰出制度の拡充等について」、問題9「公的資金補償金免除繰上償還制度の復活及び公営企業借換債制度の条件緩和について」が上程され、討議の結果、関係当局に陳情することと決定した。

次に、災害対策関係として、問題10「水道施設の震災対策等に対する行財政支援について」が上程され、討議の結果、関係当局に陳情することと決定した。

続いて、水源関係として、問題11「ダム等の水源施設の開発促進及び取水地点変更認可の要件見直しについて」が上程され、討議の結果、関係当局に陳情することと決定した。

次に、水質関係として、問題12「水道水源における水質保全対策及び水質事故の発生防止の強化について」が上程され、討議の結果、関係当局に陳情することと決定した。

最後に、その他として、問題13「地下水利用等による専用水道に係る法整備及び対応について」、問題14「貯水槽水道の規制強化について」、問題15「配水管の耐用年数の見直しにつ

いて」、問題16「指定給水装置工事事業者の登録更新制度の創設について」、問題17「国際貢献・水ビジネスの展開に向けた取組の強化について」が上程され、討議の結果、関係当局に陳情することと決定した。

続いて、宇仁菅厚生労働省健康局水道課長から、新水道ビジョンや水道行政の当面の課題等について説明があるとともに、廣澤総務省自治財政局公営企業経営室長から、水道事業経営の現状と課題等について説明があった。

次に、全国会議開催地の決定について、全国会議の開催地は、定款の定めにより、予め前年の全国会議で定めることとなっているため、第4回理事会に諮った結果、名古屋市と内定いただいていること等を事務局から報告し、報告のとおり満場一致で名古屋市に決定した。

続いて、全国会議開催地を代表して小林名古屋市水道事業管理者より挨拶があった。

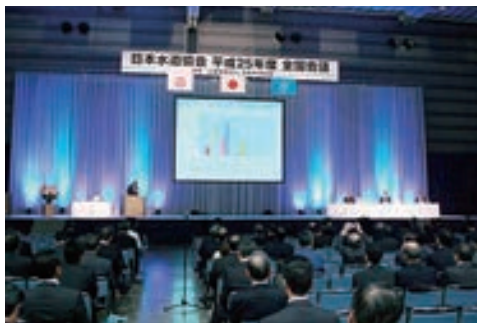
なお、同日午後から水道研究発表会が11部門に分かれて開催され、事務27、計画21、水源・取水9、浄水79、導・送・配水85、給水装置14、機械・電気・計装19、水質63、リスク管理・災害対策44、東日本大震災39、英語9、計409編の発表が行われた。



水道研究発表の様子

第2日目（10月24日）

東日本大震災部門に関連した特別企画として、「東日本大震災を経験して—それからの2年半と未来に向けて—」をテーマに、尾崎日本水道協会理事長が進行役を兼ねた講師を努め、降矢郡山市水道事業管理者、下畑厚生労働省健康局水道課水道水質管理室室長補佐、秋元日本水道協会総務部長を講師に、基調講演が開催された。（速記録は本誌2月号に掲載予定）



基調講演



進行役：尾崎日本水道協会理事



講師：降矢郡山市水道事業管理者



講師：下畑厚生労働省健康局
水道課水道水質管理室室長補佐



講師：秋元日本水道協会総務部長

水道研究発表会と並行し、24日から25日にかけて事務局設定4コースに分かれ、郡山市の水道施設等を視察した。

また、会期中本協会のPRコーナー、日本水道工業団体連合会による水道用品展示会が開催され、多数の見学者で賑わった。

水道協会雑誌平成25年8月号掲載記事の訂正について

本誌平成25年8月号に掲載いたしました「発行図書目録」につきまして、掲載内容に一部誤りがございました。ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。

<正>

		一般販売価格	会員割引価格	送料
水道事業における地方公営企業会計制度見直しの手引き	平成25年	4,000	3,200	<u>450</u>

<誤>

		一般販売価格	会員割引価格	送料
水道事業における地方公営企業会計制度見直しの手引き	平成25年	4,000	3,200	<u>340</u>

水道協会雑誌平成25年10月号掲載記事の訂正について

本誌平成25年10月号に掲載いたしました巻頭ニュース「水道 GLP 認定証授与式（8月27日：柏崎市ガス水道局〔認定番号：JWWA-GLP051〕）」につきまして、掲載写真に誤りがございました。ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。



8月27日

柏崎市ガス水道局
(認定番号：JWWA-GLP051)